

施 政 方 針

令和5年第1回（3月）市議会定例会

四 街 道 市

【はじめに】

令和5年第1回四街道市議会定例会に当たり、市政運営の方針と主要な施策について述べさせていただきますとともに、提案いたしました令和5年度予算案につきまして、その概要をご説明申し上げます。

昨年2月に市民の皆様から市政運営の負託を受け、この1年間「対話と現場主義」をモットーに、多くの市民の皆様と直接お会いして、様々なご意見を伺い、そして職員との対話、事業の総点検などを通じて私自身がそこで感じたことを大切にしながら、市政運営を進めてまいりました。

その中で、街のために尽くし奮闘しながら、この街を支えていただいている方、困っている人に手を差し伸べている心優しい方など、人に寄り添う心温かな「人」こそが四街道を創り、住み良い街としての評価を高めてくださっていると実感しています。私たちの四街道に関わってくださるすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

私も、この四街道のために全力を尽くし「対話と現場主義」を貫き、皆様にとって「身近な市長」であり続けたいと思います。多様な人々や関係機関、他自治体や企業とのつながりを大切に、市民の皆様がこの街に住むことを誇りに感じていただけるよう、四街道の価値を高めるまちづくりを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大防止に向けた様々な規制の緩和や経済活動が再開し、コロナ前の日常を取り戻しつつあると感じます。こうした中でも基本的な感染防止対策を踏まえつつ、市民の皆様をはじめ、医療機関のご協力をいただきながら、新型コロナウイルスワクチン接種などの感染症対策を進めてまいります。

市政における最上位の計画である総合計画につきましては、5年度に現計画が最終年度を迎えるとともに、未来を見据えたまちづくりの羅針盤となる新たな総合計画を策定する重要な年度となります。

その策定にあたりましては、幅広い世代から四街道の未来に向けたご意見を伺うため、オンラインを活用した市民参加手続を加えて実施するとともに、18歳以下の市民等にアイデアを募集するなど、若い世代の方にも参画をいただきながら作業を進めています。そして5年度においては、タウンミーティングの開催や有識者、関係団体代表者及び公募市民で構成される総合計画審議会でのご意見を伺うなど、みんなで創るみんなの計画となるよう、策定を進め

てまいります。

この先も、四街道市のリーダーとして、私自身が勇気をもって挑戦を重ね、人とのつながりを大切にし、四街道の明るい未来を切り拓いてまいります。市民の皆様、議員の皆様、先人が築いてくださったこの素晴らしい四街道の価値をともに高め、四街道の新たな時代をともに創ってまいりましょう。よろしくお願い申し上げます。

それでは、本市における重要な項目について申し上げます。

【重要項目】

子育て支援については、安心して子どもを産み育てていただく環境を更に充実させるため、子ども医療費助成制度において、対象年齢を18歳まで拡大するための準備を進めてまいります。

市庁舎整備については、市民の安全・安心な暮らしを支える防災拠点となる庁舎の整備に向け、第1期工事として、市役所北側に新築棟の建設工事に着手するなど、7年度の事業完了を目指し、整備を進めてまいります。

次期ごみ処理施設については、早期の施設整備に向けて概算事業費や整備期間、実現の可能性などを比較検討し、それらを基に整備手法の方向性を定めてまいります。

自転車活用の推進に向けた新たな取組については、安全で快適な自転車通行空間を効率的・効果的に整備することを目的とした「(仮称)四街道市自転車ネットワーク計画」の策定を進めてまいります。

産業については、企業立地促進事業補助制度を創設するとともに、産業振興課内に「(仮称)企業立地・農商工連携推進室」を設置するなど、組織体制の強化を図り、企業立地の促進に努めてまいります。また、企業からの相談に迅速な対応ができるよう、ワンストップサービスの構築に向けた調査・研究を進めるほか、市内企業への個別訪問を行うなど、企業の定着につながるよう連携強化にも取り組んでまいります。

四街道の未来を担う中学生から「理想のまち」をテーマとした作文を募集し、ふるさと四街道について考えるきっかけを作る取組を進めてまいります。

次に、主要な施策について、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

【分野別の主要施策】

基本目標1「だれもが健康でいきいき暮らせるまち」

の分野でございますが、子ども家庭支援については、7年度を開始年度とする「四街道市こどもプラン(第3期子ども・子育て支援事業計画)」の策定に向け、子どもの貧困についての実態調査等を行うなど、子どもたちの健やかな成長と子育て家庭を支援するための計画策定を進めてまいります。

保育サービスの充実では、放課後における児童の安全な居場所として整備を進めてまいりました、南小学校の第3こどもルームが4月1日に開所します。

また、保育所入所待機児童への対策として整備を進めてまいりました、認可保育所2か所において、4月1日に開所が予定されているなど、市内保育所等の定員数は200人増加し、1,945人となります。

高齢者支援については、全ての団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題を見据え、地域の実情に即した効果的な介護予防事業を推進するとともに、「四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画第9期計画」の策定を進めてまいります。

障がい者支援については、地域で安心して生活できるよう相談支援体制の充実や福祉サービスの提供に努めるとともに、「第7期四街道市障害福祉計画」及び「第3期四街道市障害児福祉計画」の策定を進めてまいります。

また、医療的ケア児やその家族等の支援を目的とした「四街道市医療的ケア児等支援協議会」を設置し、関係機関との情報共有や意見交換を通じて支援体制の強化を図ってまいります。

基本目標2「安全・安心を実現するまち」

の分野でございますが、防災・減災については、本年度に実施している防災アセスメント調査結果による新たな被害想定を踏まえた「四街道市地域防災計画」の改訂に向け、作業を進めてまいります。また、市民の防災意識と対応力向上のため、各種防災訓練等を実施するとともに、自助・共助の啓発や体制づくりを支援するなど、地域防災力の向上を推進してまいります。

消防・救急については、高齢者世帯の住宅火災による事故を防止するため、75歳以上の高齢者世帯に対し、住宅用火災警報器の給付及び取付支援を行う新たな取組に向け、準備を進めています。

消防団については、第9分団に配置している小型動力ポンプ付積載車の機能強化に伴う更新整備に向け、準備を進めてまいります。

消費者保護については、複雑多様化する消費者トラブル等の被害を未然に防止するとともに、身近な消費生活に関する知識を深めていただくための消費生活講座を開催します。

基本目標4「みどりと都市が調和したうるおいのあるまち」の分野でございますが、環境保全については、新たな環境課題に的確に対応し、地球にやさしいまちづくりを進めるための指針となる「第3次四街道市環境基本計画」の策定に向け、作業を進めてまいります。

また、公害防止対策の推進として、大気汚染や水質汚濁、騒音等の調査測定を継続して実施するとともに、大日地区での環境基準を超過した地下水における汚染機構の解明に努めてまいります。

循環型社会については、ゼロカーボンシティ宣言の下、5年度を開始年度とする「四街道市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」に基づき、家庭等における省エネルギーの促進を図るため、住宅用設備等の導入支援や宅配ボックスの購入支援等に取り組んでまいります。

また、可燃ごみの減量化とリサイクルの推進を図るため、資源物収集日において、4月から雑がみ回収用の網袋を設置するなど、更なる分別を進めてまいります。

住環境については、都市公園事業として、公園施設を計画的に維持管理し、安全・安心に利用していただくため、「四街道市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設の更新工事を進めてまいります。

また、市営住宅の計画的、効率的な更新を図るため、「四街道市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営萱橋台住宅の外壁等改修工事を進めてまいります。

生活基盤については、中台5号線ほか3路線の道路排水施設を整備するなど、市内の排水対策を推進してまいります。

また、浸水対策事業として、四街道雨水幹線の溢水解消に向け、萱橋調整池及び四街道雨水2号幹線の整備を計画的に進めてまいります。

水道事業では、水道水を安定的に供給するため、配水改善工事等による老朽管の入替えを進めてまいります。

基本目標5「にぎわいと活力にあふれるまち」の分野でございますが、道路・交通については、都市計画道路3・4・7号

南波佐間内黒田線の用地取得に取り組むほか、物井駅東口アクセス道路の地質調査に向け、準備を進めてまいります。

また、和良比山梨2号線ほか2路線の舗装修繕工事及び市内各所の通学路の交通安全対策工事を進め、安全・安心な交通環境整備を行ってまいります。

公共交通サービスの充実では、千代田地区におけるグリーンスローモビリティを活用した実証実験を引き続き進め、市内公共交通の課題解決及び地域活性化への効果について、検証を行ってまいります。

市街地形成については、本市の都市計画に関する基本的な方針となる新たな「四街道市都市計画マスタープラン」の策定に向け、作業を進めてまいります。

また、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、組合による残事業が進められており、事業完了に向け、引き続き技術的援助及び財政的な支援等を行ってまいります。

産業については、中心市街地と商業の活性化を促進するため、空き店舗等の活用に対する支援を行うとともに、商工会と連携を図りながら市内における創業者を支援してまいります。

農林業では、子育て世代を対象とした市民親子農業収穫体験講座を開催し、体験学習を通して参加者と農業者との積極的な交流を進め、農業と地産地消に対する理解を深めてまいります。

また、認定農業者及び認定新規就農者への支援につきましては、機械購入や施設整備に係る補助金を交付するなど、引き続き生産性の向上と農業経営の安定化につながるよう支援してまいります。

基本目標6「ともに創る将来に向けて持続可能なまち」の分野でございますが、みんなで地域づくりについては、「みんなで地域づくりセンター」の機能を活かし、地域づくりを担う主体と行政との連携・協力を促進し、地域の特色を活かした取組を進めてまいります。また、事業提案制度（コラボ四街道）を活用した地域づくりの担い手の発掘・育成を推進してまいります。

シティセールスについては、子育てしやすい街づくりの取組や本市の多様な魅力を市内外の子育て世代に効果的に発信するため、新たな市PRパンフレットの制作に取り組んでまいります。また、東関東自動車道の陸橋を活用した市PR用横断幕については、新たなキャッチコピーを募集するなど、市民とともに市の認知度向上に向けた取組を進めてまいります。

行財政運営については、より一層の効率的・効果的な行財政の推進を図るた

め、6年度を開始年度とする「第9次四街道市行財政改革推進計画」の策定を進めてまいります。

ファシリティマネジメントの推進では、公共施設の電気使用料及び二酸化炭素排出量を削減するため、LED照明の導入に取り組んでまいります。

以上、分野ごとの主要な施策について申し上げます。

なお、基本目標3「豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち」に係る施策等につきましては、教育行政に係る方針として、教育長から申し述べさせていただきます。

次に、令和5年度予算案の概要について申し上げます。

【令和5年度予算】

本市の財政状況は、一時よりも改善しておりますが、歳入においては、原油価格・物価高騰の影響は、市民生活や事業活動にまで広く及んでおり、市税収入のコロナ禍前の水準への回復を見込むには不透明な経済情勢が続いています。一方、歳出においては、高齢化の進行や子育て支援等に対応するための社会保障関係経費の増加や、庁舎等公共施設の老朽化対策、脱炭素化の推進、次期ごみ処理施設の早期整備等、財政状況に影響を与える多様な課題に直面しています。

このような状況を踏まえ、令和5年度当初予算編成に当たっては、「総合計画後期基本計画（令和元年度～令和5年度）」の最終年度であるとともに、将来に向けた新たな総合計画を策定する重要な年度であることから、「人 みどり 子育て 選ばれる安心快適都市 四街道」の実現を目指し、計画に位置付けた事業の達成に向け、的確に予算へ反映し、積極的かつ着実に推進していく方針の下、編成しました。また、「第8次行財政改革推進計画」に掲げられた項目を着実に実施し、収支改善にかかる取組を一層進めていくことで、持続可能な財政運営の実現を目指すこととしました。

令和5年度予算の概要は、一般会計予算の総額が前年度に比べ1.3億円、4.1%増加し、332億6,000万円となりました。

歳入では、市税が前年度比4.6%増の114億7,700万円、地方交付税及び臨時財政対策債は、国の令和5年度地方財政計画を踏まえ、合計で39億円を計上しました。

歳出では、庁舎等整備事業の増加等により、総務費が前年度比20.4%増の55億243万4千円、子育て支援の充実や社会保障関係経費の増加等により、民生費が前年度比2.8%増の155億3,990万3千円、鹿渡南部特定土地区画整理事業の増加等により、土木費が前年度比13.4%増の19億4,590万4千円となりました。また、八木原小学校大規模改造事業の減少等により、教育費が前年度比7.1%減の31億7,828万5千円となりました。

なお、特別会計の予算規模は、3会計の合計で174億9,140万円となり、前年度に比べ3億4,200万円、2.0%の増加となりました。

以上、令和5年度の施政方針を申し上げます。

本方針の下、職員と一丸となって市民のために働きつくし、四街道で生きるその価値を高めるべく諸施策を推進してまいります。市民一人ひとりが願う幸せに寄り添い、市民幸福感の高いまちをみんなで目指してまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年2月27日

四街道市長 鈴木 陽介